

講義コード	1179	科目区分	教職に関する科目(中・高一種免許)
(フリガナ)	タイイクカキョウイクホウⅡ	(フリガナ)	クニキ タカハル
授業科目名	体育科教育法Ⅱ	担当教員名	國木 孝治
英文授業科目名	teaching methods in physical education Ⅱ		
基準年次(開講期)	2年生(後期)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	木曜日/4-5時限(クォーター)/321		
授業の方法	講義・演習	授業の方法 (詳細情報)	講義中心、演習中心、学生の発表
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	体育科教育学、学習指導要領、学習指導案、模擬授業		
授業概要・目的	本授業では、将来において中学校・高等学校保健体育の教員を目指す受講生が、体育科教育の学習目標、学習内容・教材、指導法、評価法、場の設定等について理解を深めたうえで、指導計画の作成と展開によって教育的実践力の資質を養うことを目的としている。 「体育科教育法」は通年で実施し、本授業はその後半にあたる。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導計画を立案し、学習指導案が作成できる。 ・学習活動に必要な学習集団づくりや事故防止の留意点について理解することができる。 ・学習評価の基本的な考え方を理解することができる。 		
授業計画			
第1回	授業ガイダンス 授業計画、評価、テキスト・参考書についての説明		
第2回	体育科教育の授業づくり① 「体づくり運動」の授業づくり		
第3回	体育科教育の授業づくり② 「器械運動」の授業づくりについての例示と解説		
第4回	体育科教育の授業づくり③ 「陸上競技」の授業づくりについての例示と解説		
第5回	体育科教育の授業づくり④ 「水泳」の授業づくりについての例示と解説		
第6回	体育科教育の授業づくり⑤ 「球技」の授業づくりについての例示と解説		
第7回	体育科教育の授業づくり⑥ 「ダンス」の授業づくりについての例示と解説		
第8回	体育科教育の授業づくり⑦ 「武道」の授業づくりについての例示と解説		
第9回	体育科教育の授業づくり⑧ 「体育理論」の授業づくりについての例示と解説		
第10回	模擬授業① グループ分け、学習指導案の作成		
第11回	模擬授業② 学習指導案の作成		
第12回	模擬授業③ 学習指導案の作成		
第13回	模擬授業④ 模擬授業の展開と振り返り		
第14回	模擬授業⑤ 模擬授業の展開と振り返り		
第15回	まとめ 学習指導案の課題の検討と改善、授業総括		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編(2008)中学校学習指導要領解説(保健体育編)。 ・文部科学省編(2009)高等学校学習指導要領解説(保健体育編/体育編)。 ・久保健(2014)体育科教育法(講義・資料集)。 ・高橋健夫ほか(2010)新版・体育科教育学入門。 		
授業で使用する 機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	授業各回の終わりに次回使用する資料・指導案等を提示するので予習すること。		
履修上の注意・ 受講条件等	学科・専攻で定める中・高教職免許取得に係る諸条件を満たし、当該年度(または前年度)に教育実習に行くことが許可されている者。教職課程履修に強い意欲と責任感を示す者。		
成績評価の基準等	以下の3つの観点から評価する。 1) 授業到達目標に対する到達度評価(60/100) 2) 学習指導案作成等のレポート提出(20/100) 3) 出席、参加態度に基づく評価(20/100)		
メッセージ	真剣に教員を目指すものとして、教師を志す強い意志を持続させることが必要である。 なお、以下の資料を初回授業時までに揃え、毎授業時に持参すること。 ・文部科学省編(2008)中学校学習指導要領解説(保健体育編)。 ・文部科学省編(2009)高等学校学習指導要領解説(保健体育編/体育編)。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他	遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上に置かずにしておくこと(各種障がいのために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。		